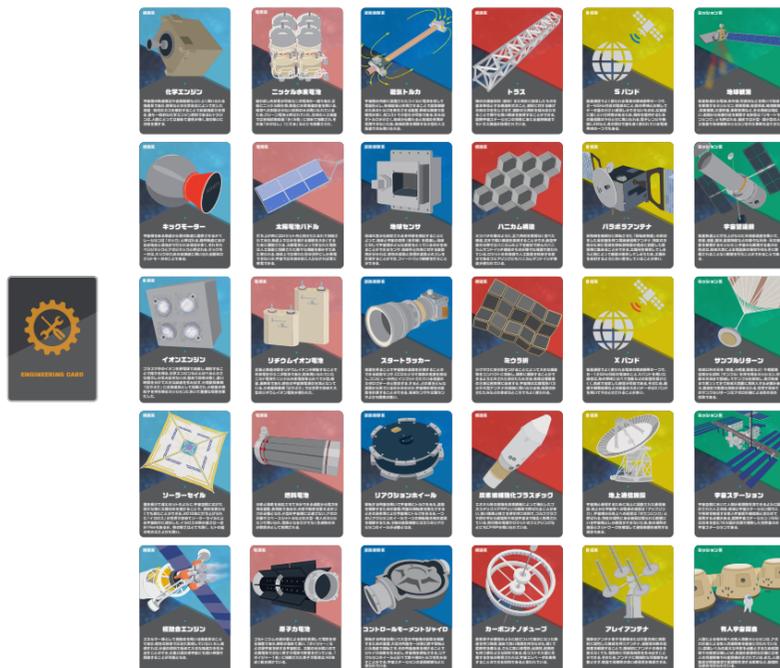


カード一覧

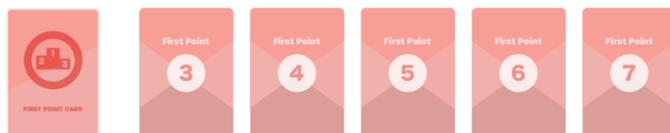
◎エンジニアリングカード



◎イベントカード



◎ファーストポイントカード



◎スコアカード



ゲーム説明書 対象年齢:10歳～ / プレイ人数:4人 / プレイ時間:60分

Strategy for Space Mission PERITUS

あなたたちはこの国の宇宙開発に携わる研究者です。
不安定な予算や天候不順等のアクシデントに負けず、十年の任期内になるべく多くの、
なるべく大きなミッションを達成し、科学の進歩に貢献しましょう。

内容物

◎ボード

メインボード … 1枚

◎カード類

イベントカード … 21種類:90枚
 エンジニアリングカード … 30種類:180枚
 ファーストポイントカード … 5種類:10枚
 スコアカード … 3種類:60枚

◎駒類

プレイヤー駒 … 4個 (予備2個)
 ターン表示駒 … 1個 (予備1個)

◎ダイス

10面ダイス … 1個 (予備1個)

◎説明書類

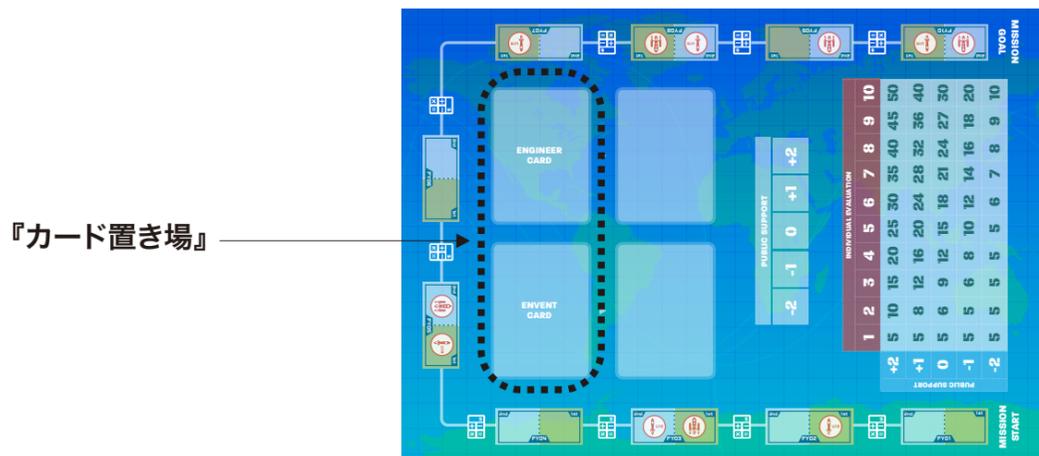
ゲーム説明書 … 1枚(本紙)
 イベントカード一覧 … 4枚(予備2枚)
 エンジニアリングカード一覧 … 4枚(予備2枚)

ゲームの準備

1. 盤の配置

1-1. メインボードを机の中央に置きます。

1-2. 枚数を確認したイベントカード、エンジニアリングカードをよく切りカード置き場に伏せて配置します。ゲームバランスに影響するのでプレイヤーで分担し念入りにシャッフルしてください。イベントカード一覧、エンジニアリングカード一覧、ミッション一覧を必要に応じてプレイヤーに配ります。



2. 初期予算の決定

2-1. ファーストポイントカードをよく切り、伏せた状態で各プレイヤーが1枚ずつ引きます。

2-2. ゲーム開始時の国民支持 (FAVORABLE RATING) を0、各プレイヤーの個人評価 (PERSONAL RATING) を自身の引いたファーストポイントカードの数値とします。

2-3. 各プレイヤーはステータスボード上の国民支持 (ゲーム開始時は0) と自身の個人評価値 (ファーストポイントカードの数値) との交点となるマス目に自身の駒を配置します。

2-4. 自身の駒を置いたマス目に書かれた数字が各プレイヤーのスタート時に保有する予算です。

『ステータスチャート』

『国民支持』		PERSONAL RATING									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
FAVORABLE RATING	+2	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	+1	5	8	12	16	20	24	28	32	36	40
	0	5	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	-1	5	5	6	8	10	12	14	16	18	20
	-2	5	5	5	5	5	6	7	8	9	10

ゲームの終了

6. ゲーム終了

6-1. メインボードの最後のマスまで進んだらゲーム終了です。

6-2. 終了時点でのポイントカードの合計で勝者を決定します。

7. その他

7-1. エンジニアリングカードの山札が尽きカードを引けない場合には、捨て札となっているエンジニアリングカードを切り直し山札として配置してください。

7-2. プレイヤー全員で相談したうえでエンジニアリングカードを廃棄することを要求するイベントカードについて、全員が納得していれば一人のプレイヤーが複数枚を供出してもかまいません。また、エンジニアリングカードに代えてアウトリーチカードを供出することができます。

7-3. 原則として3-2に示したミッションを完成させることを目指しますが、プレイヤーの合意が得られれば特別ミッションをあらかじめ加えておくこともできます。例えば以下のようなものを自由に考えてゲーム開始前に加えてください。

★アポロミッション (35点)

化学エンジン5枚+太陽電池パドル3枚+サンプルリターン3枚+有人宇宙探査3枚



★はやぶさミッション (50点)

イオンエンジン5枚+リチウム電池3枚+リアクションホイール2枚+サンプルリターン2枚+地上通信施設3枚



5. ミッションが完成した際の処理

5-1. メインボード上でロケットのマークがあるマスでは完成したミッションを打ち上げることができます。

※ロケットには大型ロケットと小型ロケットの2種類があります。小型ロケットはエンジニアリングカードのスコア合計が10以下のミッションしか打ち上げることができません。



5-2. ミッションが完成したプレイヤーは自身の手番で打ち上げを宣言します。打ち上げを宣言できるのは1) 自身の手番の処理がすべて終了しており、2) ロケットのマークがあるマスにいる時で、3) ロケットの打ち上げ能力の範囲内で(5-1注を参照)、4) 手元のエンジニアリングカードが予算内に収まっている場合です。

※上記の条件を満たしていれば同時に複数のミッションを打ち上げることも可能です。

5-3. 打ち上げを宣言したプレイヤーは打ち上げるミッションを他のプレイヤーに示したうえでダイスを振ります。出た目が0の場合のみ打ち上げ失敗とします(成功確率90%)。なおイベントカードに含まれている「新型ロケット開発成功」を使用する場合には0、1、2が打ち上げ失敗(成功確率70%)とします。

※ちなみに現実の宇宙開発においてロケットを打ち上げている世界9ヶ国の成功確率は2015年末時点で93.8%です。(国研) 科学技術振興機構研究開発戦略センター「世界の宇宙技術力比較(2015年度)」より。

5-4. 打ち上げが成功した場合、打ち上げたプレイヤーは成功したミッションが含んでいたエンジニアリングカードの合計をポイントカードから受け取ります。打ち上げが成功しても失敗してもミッションに使用したカードは捨て山に破棄します。

3. 各初期手札の配布

3-1. はじめに各プレイヤーともエンジニアリングカードを8枚引きます。引いたカードは他のプレイヤーに見えるように自分の手元に置きます。

3-2. エンジニアリングカードに記載された数字の合計が自身の予算内に収まるよう調整します。合計が予算を超過している場合には予算内に収まるまでカードを破棄します。このゲームではエンジニアリングカードの組み合わせで以下のミッションを作ることを目指すので、それを念頭にカードを捨てるようにしましょう。

『分野』 → ← 『コスト(レベル)』

◎全部で6分野

- ・推進系
- ・電源系
- ・姿勢制御系
- ・構造系
- ・通信系
- ・ミッション系

◎1~5段階

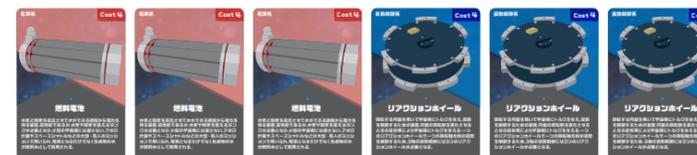
【ミッションの説明と凡例】

■科学ミッション: 同分野(同色)・同レベルのエンジニアリングカード3枚を2組揃える

例) 同分野で3枚2組 = 合計12点のミッション



例) 別分野同レベルで3枚2組 = 合計24点のミッション



■実用ミッション: 同レベルのエンジニアリングカードを5分野(5色)揃える

例) 別分野同レベルで5枚1組 = 合計5点のミッション



例) 別分野同レベルで5枚1組 = 合計25点のミッション



■実証ミッション:同分野(同色)のエンジニアリングカードをレベル1,2,3,4,5と揃える

例)同分野1～5レベル5枚1組
=合計15点のミッション



ここまででゲームの準備は終了です。

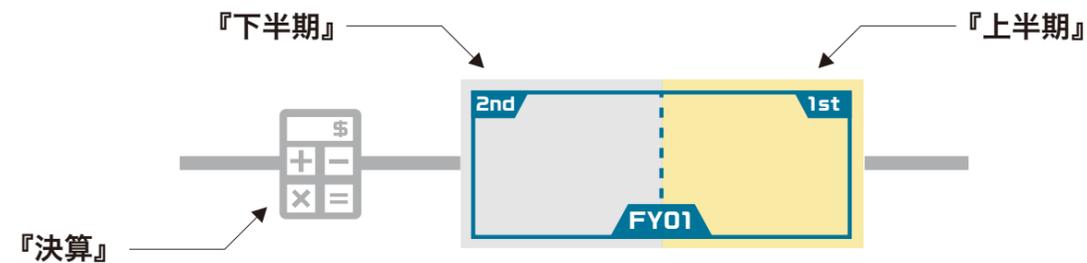
ゲームの進め方

4. ゲームの進め方

4-1. ジャンケンなどでプレイの順番を決めます。

4-2. プレイヤーは自分の手番がきたらイベントカードを1枚引き内容を読み上げてその指示に従います。

※メインボードの1マスは会計年度の上半期と下半期を表しており、2マスで一年が経過します。一年ごとに決算があり予算の変動が生じます。



※イベントカードには「即時」「決算時A」「決算時B」「決算時C」「保有可」といった発効タイミングが記載されているので、カードに記載されたタイミングで指示に従います。「即時」であればただちに指示に従います。「決算時○」あるいは「保有可」とある場合には決算時まで保持します。(次ページ参照)

4-3. イベントカードの処理が終わったらエンジニアリングカードを3枚引きます。引いたエンジニアリングカードは他のプレイヤーにも見えるように自身の手元に置きます。

4-4. 手元のエンジニアリングカードが自身の予算内に収まるよう調整します。合計が予算を超過している場合には予算内に収まるまでカードを破棄します。

※エンジニアリングカードを調整するには自身の目指すミッションを念頭に調整をしましょう(3-2参照)。

4-5. 上記の手順で4名のプレイヤーを一巡したらメインボードの駒をひとつ進め下半期に入ります。下半期も同様に一巡したら決算を行います。

4-6. 決算の作業に入る前にすべてのプレイヤーのエンジニアリングカードが予算内に収まっていることを確認します。

4-7. 決算ではイベントカードのうち「決算時○」と書かれているものの処理を行います。プレイの順番に「決算時A」、「決算時B」、「決算時C」の順に処理していきます。その後「アウトリーチカード」の使用を望むプレイヤーがいれば使用します。

※この際プレイヤー間で相談することで処理が変わるものがあります。よく相談して決定してください。

※決算処理では国民支持や個人評価が変動します。変動に合わせてステータスボード上の手駒を動かしますが、手元のエンジニアリングカードの調整は最後まで行わないでください。



4-8. 決算の処理がすべて終わったら、ステータスボード上の手駒の位置を確認してください。手駒があるマスに書かれている数字が次年度の各プレイヤーの予算です。手元のエンジニアリングカードを手元のエンジニアリングカードが自身の予算内に収まるよう調整します。合計が予算を超過している場合には予算内に収まるまでカードを破棄します。

※エンジニアリングカードを調整するには自身の目指すミッションを念頭に調整をしましょう(3-2参照)。